

**ありたい姿**

- えがおで つながる 広がる(持続可能)  
ほっとする(安心・安全)  
～魅力あるまち 北野にきてね♪～



**ありたい姿の実現に向けて必要なこと**

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	近所の人達に目を向け、あいさつし、助け合える環境づくり
		みんなが思いやりをもてる気持ちの浸透・意識づくり
		互いに無理をしない役割分担
	地域の拠点づくり	神社・寺・集会室を利用した地域住民の居場所づくり
交流の場	若者と高齢者との交流の促進(クラブ活動の手伝い等)	
	情報を教えてくれるような居場所づくりや、ワークショップ実施	
3	子ども・子育て	地域をまきこんだ子ども食堂の運営
	学校・教育	学生や高齢者による小中学生への学習支援の実施
	多文化共生	外国人の多い地域特性を生かし、地域の多文化化 外国の方への日本語教育や、外国の方から言語や文化を学ぶ場づくり

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	地域団体が交流できる拠点づくり
	地域人材の育成	地域の未来を託せる人材の育成
2	医療・健康	地域の福祉活動の事業化

○「協働」&「すぐにできる」

意見なし

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	地域の活動が継続できるように地域と行政の連携強化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	既存の団体を活かし、上手につながる仕組みづくり
4	公園・緑地	魅力のある遊具のある公園の増設

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域の活性化という目的遂行のために、わかりやすいシステムとし、組織化する
	意見交換の場	学校関係者、行政、地域、三者間の定期的な情報交換の場づくり
	行政運営	「地域づくり推進事業」の地域コミュニティへの委託化(予算化)
2	見守り・支え合い	困っている人、支援が必要な人が助けを求められることができる環境作り
3	子ども・子育て	学童保育所で食事を出せる体制の整備
5	企業(誘致、支援、連携)	地域活動はボランティアだけでなく、企業の支援を募るなどして事業化推進

**校区の特徴**

- この地域は、外国人居住者が多いため、国籍や年齢に関係なく様々な方たちが交流し、お互いを助け合えるような地域にしたいという声が多くあった。
- 町会・自治会、学校運営協議会、子ども食堂などの地域活動を活性化するために、課題の共有やその解決に向けた議論などができる場が必要だという意見があった。
- 地域と行政のさらなる連携を求める声も多く、行政への期待もある中で、若い世代の意見も取り入れながら、自分たちでできることから始めたいという意見が多くあった。

ありたい姿

- 人と人・人と情報をつなげる幸せな街
- 共<sup>とも</sup>発達できるまち



★ 2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域「お散歩・資源マップ」づくり
	地域人材の育成	地域のITお助けマンの起ち上げ
	情報（発信、共有、デジタル化）	地元密着型の地域新聞の発行（地元の人に取材する）
		中山チャンネルの開設（YouTube、ツイッター、インスタ等のSNSで）
交流の場	地域特有問題解決アプリの開発（連絡、データヘルス、人材マッチング等）	
3	多文化共生	異文化コミュニケーションの推進 （地区での催し物のPR活動、日本での生活のあり方をアドバイスする機会、各国の料理で交流したり自国をPRする機会、自国語でのあいさつの実施等）
		野良の会設立（畑の整備や収穫祭BBQを行う）
5	産業振興	畑コーディネーター制度を創設、農地の有効活用を図る仕組みづくり（貸出等）

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	暮らしの相談	地域のチャットボット
3	子ども・子育て	赤ちゃんの頃から地域（近所）で見守り、親の交流をする場づくり （先輩ママの訪問→お悩み相談→今後も交流）
4	都市計画・居住環境	防災・医療介護・移動など、安心して暮らすことのできるインフラ整備
6	自然・環境	地域の緑を残し、自然を守る仕組みづくり★

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	市内の様々な団体をつなぐネットワークづくり
	地域人材の育成	ITに強い人材育成
5	産業振興	八王子の名所を巡るミニ旅行の計画

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	介護等施設連携の健康データの管理システムの構築（例：ミルモネット）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	行政でプロジェクトを発足し担い手を公募する仕組み
	行政運営	市の関連部署との連携

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
3	学校・教育	子どもの教育予算の十分な確保（体育館にエアコン設置等）
		教員増員による少人数学級の実現
4	交通インフラ	広い歩道の整備
	都市計画・居住環境	空き家・空き教室の活用促進★

校区の特徴

- 今ある自然を未来まで残していきたい、新しい人が転入しやすい開かれた地域でありたいという思いから、自然と人を絡めた交流のしくみなど、中山らしさを活かしたつながりを求める声があった。
- 情報技術の活用によって、地域住民のコミュニケーションを活性化し、アイデアを集約することで、様々な地域課題の解決を図っていきたいという声があった。
- 行政に対しては、教育設備の充実や空き家の利活用、歩道拡張などを求める声があった。

**ありたい姿**

- 「八王子に住んで幸せだ」と思える場所がいっぱいのまち
- 誰もが家族になれるまち



★ 2グループで共通して挙げられた意見

**ありたい姿の実現に向けて必要なこと**

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	いずみの森を中心とした地域主導による居場所づくり、子育て→人と市の支援（相談や補助金）があればすぐできる
		使われていない場所の有効活用（活動や集まれる場所等）
	情報（発信、共有、デジタル化）	SNS等を学ぶ機会の提供
	交流の場	子供達と高齢者の交流の場を（施設を含む）
		ゆるやかなつながりづくり
		子供の遊び場や交流の機会（ワークショップ等）づくり
老人会のグラウンドゴルフ等をまとめた大会の実施		
3	学校・教育	イベントの開催、いずみの森フェスティバルを地域も加わって開催★
		校庭を活用した夏祭り
		子供達の居場所「いずみの森コミュニティスペース」
		いずみの森の9学年のつながりをいかす

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	子育てが終わっても続くつながりづくり→PTA役員OB、おやじの会OB等
	地域の人材育成	地域の活動資金を地域で集め、地域の人材を地域で育てる仕組みづくり
	交流の場	新しいグラウンドを活用した祭りの実施

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	八王子に人が集まってくるイベントづくり（八王子ロック、八王子祭り、八王子独自のイベント）
	意見交換の場	地域、行政を交えた話し合いの場づくり
2	高齢者	元気な高齢者が集えるコミュニティの場をつくる（八王子健康体操）
3	スポーツ・文化・生涯学習	学校でできる子ども支援を充実させる（放課後子ども教室、夏祭り）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	学校の長期休暇を活用した、多世代の居場所づくり →希望があれば学校の給食室で作られた昼食を食べられる
3	スポーツ・文化・生涯学習	JR八王子駅南口で吹奏楽のパレードイベントを開催する
4	防災	防災の地域化
	景観・まちなみ	使われていない店舗等の活用による町並みの活性化

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	市立中学校の給食導入状況や部活動情報等のウェブサイト等での公開 医療刑務所跡地活用方法についての行政によるこまめな情報公開
	行政運営	地域活動等における手続の簡略化
2	見守り・支え合い	助けを必要としている人とできる人のつながりづくり（コンサルタント）
4	景観・まちなみ	ベンチの設置

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	回覧板のペーパーレス化、LINE等の活用
	行政運営	活動団体に予算と権限の委譲
3	子ども・子育て	子供が自由に遊べる場所の設置
	スポーツ・文化・生涯学習	すべての小学校区で放課後の安全な居場所づくり
	学校・教育	すべての中学校で学校給食の実施 障害があっても学区の小中学校へ通うことができる環境づくり
4	都市計画・居住環境	地域で運営可能な複合施設としての医療刑務所跡地の整備 →児童館、公園、コミュニティスペース等
	公園・緑地	空地を活用し公園の増設
5	産業振興	デパート等大型商業施設（モール系）の開業
	企業（誘致、支援、連携）	ベンチャー企業の誘致 大学生のマンパワーを活かす企画づくり、八王子企業と学生をつなげる仕組みづくり

**校区の特徴**

- 地域内でのつながりづくりに関心が高く、同世代に限らず、各世代がつながり、地域活動等に関心が薄い人も関わりの持てるような交流の機会・しくみづくりなどを求める声があった。
- いずみの森義務教育学校を軸に、子どもたちの居場所づくりや、多世代が交流できるイベントの実施などを求める声があった。
- 医療刑務所跡地の将来的な活用について、公園、コミュニティスペース等、地域と行政が協働して運営できる複合的なスペースが望む意見があった。
- 地域人材など、まずは地域でできることから進めていきたいという意見があった。